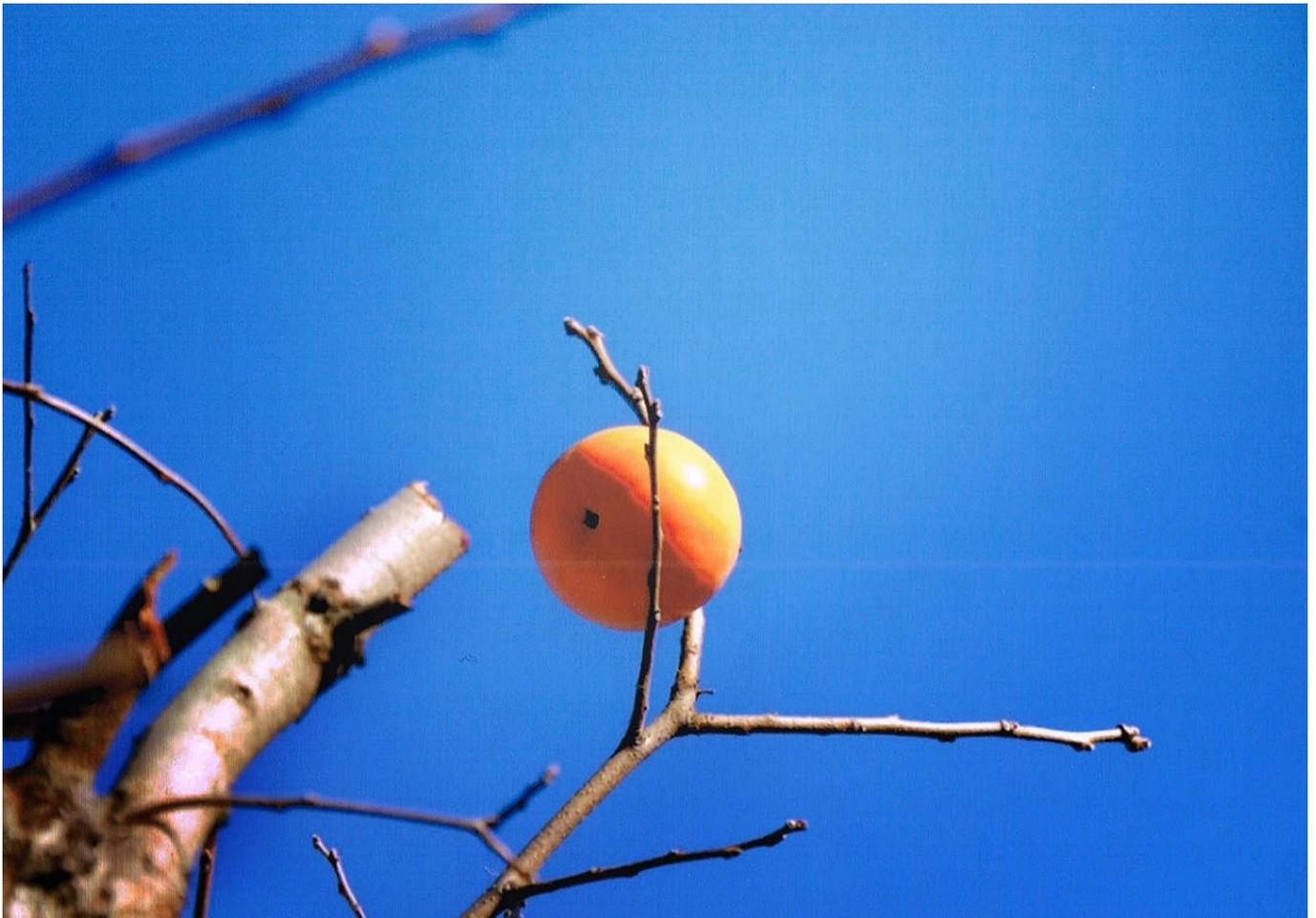


熱海写真俳句平成30年11月句会

優秀作・秋山楽亭



鳥たちに神の恵みの木守柿

来年もよく実るようにとのマジナイで、枝先に一つ二つ取り残された柿の実は、晴れた晩秋の空にその存在を主張しています。色づき熟柿になると、待ち構えていた鳥たちが集まって来ます。冬支度の鳥たちにとっては、願ってもない神様からの贈りもの…。

最近では街中で木守柿を目にすることは殆どありませんが、散歩などでこうした光景に出会うと懐かしさでしばらく見入ってしまいます。